

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-007

PDCA	事務事業名	景観形成推進事業	部課等名	建設部都市計画課 都市計 画担当	担当	犬塚	
					内線等	446	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち					
		節： 第3節 うるおい空間の形成					
		基本施策： 2. 景観形成					
		単位施策： (2) 景観形成重点地区の整備					
	根拠法令等	個別施策： ①景観整備の推進					
	対象・目的	景観形成重点地区内における景観形成推進のため、景観整備工事と景観形成に寄与する建築物等への助成を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	良好な景観形成を図るため、景観形成重点地区内の建築物等の景観形成工事への助成を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		30年度	R1年度	R2年度	単位
		①ふるさと景観づくり推進事業補助実施件数		10	-	9	件
		②					
		③					
			事業費	17,978	5,210	7,459	千円
			人件費	7,495	7,763	7,952	千円
			総事業費	25,473	12,973	15,411	千円
		活動単位当たりのコスト		30年度	R1年度	R2年度	：単位
		①補助実施1件あたりのコスト		2,547	-	1,712	千円
		②					
		③					
	成果	成果指標		30年度	R1年度	R2年度	単位
		①ふるさと景観づくり推進事業補助実施件数	実績値	10	0	9	件
			目標値	17	1	6	
②橋梁高欄の高質化延長		実績値	22	-	-	m	
		目標値	22	-	-		
	実績値						
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	-	
	事業の評価・課題	B ふるさと景観づくり推進事業補助金による助成を、半田運河周辺地区で7件、亀崎地区で2件実施し、景観形成の推進を図ることができた。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、景観形成重点地区である亀崎地区、岩滑地区の住民への制度の周知は、PRチラシの配布を回覧板により行い補助金の活用を促した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 良好な景観形成により、愛着と誇りを持って住み続けられるまちづくりを進めるため、今後も景観づくり推進事業の補助制度について、戸別訪問やチラシでのPR活動などにより、建築物の改修等の際には景観に配慮してもらえるように周知を図る。また、策定から10年が経過するふるさと景観計画について、地域の意向を伺いながら、協議会や活動組織と連携し、改定を進める。					
		成果指標		目標値	単位		
	令和3年度の目標	①ふるさと景観づくり推進事業補助実施率		目標値	40	%	
				目標値			
			目標値				